

トピックス

◎高度なセキュリティシステム実現に向け、真性乱数生成ICを発売

パソコン・携帯電話の普及により、個人情報の漏洩防止やコンテンツの保護といったネットワーク上のセキュリティ確保が強く求められています。

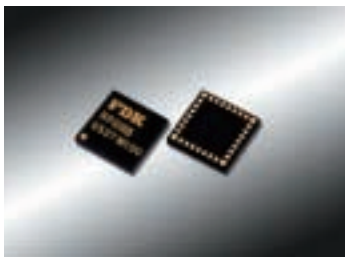
当社はネットワーク情報の暗号化に使用される乱数生成ICを開発し、今回新パッケージにして本年11月から販売を開始しました。

乱数は情報暗号化のカギとして使用されるもので、現在最も厳しい米国政府機関向け暗号モジュールの標準規格相当の条件を満たす当製品は、半導体内部で生じる熱雑音を利用して真性乱数を生成します。

ピンの無いパッケージにすることで従来製品に比べ、実装面積で69%の省スペース化とピンから信号を読み取る不正防止を実現しました。さら

に外来ノイズや外部温度に強い特性も持つため、使用条件に影響されることなく小型電子機器から大型ネットワーク機器まで搭載が可能です。

そのため、高速ネット上での認証、パスワード生成、電子施錠などへの高度なセキュリティシステムを構築することが可能となります。



◎世界最小の積層チップローパスフィルタを開発

ヨーロッパ、アジアを中心に世界160カ国以上で普及している携帯電話の通信方式であるGSMは、異なる周波数帯のもとでも受発信できるようマルチバンド化が進展しており、高周波ノイズを抑える小型のローパスフィルタが求められています。

当製品は、新素材のアルミ系セラミックス材の開発、当社の高周波部品のノウハウを駆使し、1005サイズで薄さ0.3mmの世界最小のローパスフィルタを実現しました。

電子部品を組み合わせた回路との比較では、同回路の部品点数を約1/6に削減するとともに、回路設計の大幅な簡素化、省スペース化、低コスト化が図れるとともに、2006年7月からEU圏内で施行される電気電子機器に使用する特定有害物質を制限するRoHS指令に対応いたしました。



◎富士通アルカリ乾電池の使用推奨期限が5年に延長

富士通アルカリ乾電池は、単1から単4サイズまで使用推奨期限を業界最長の5年に延長いたしました。

乾電池は、未使用であっても、時間の経過とともに徐々に自己放電していくため、使いたいときに安心して性能を発揮する乾電池が求められています。

今回の使用推奨期限延長は、乾電池の性能向上のため、かねてより取り組み、開発・改良した電池の正極材料の最適化および電解液、セパレータ、ガスケットの変更、金属ケースの形状変更による内容量増加などの既存技術を結集し、単1から単4までの富士通アルカリ乾電池に採用し、製造から5年の期間を置いても日本工業規格(JIS)で定める使用推奨期限の基準を上回る長期保存性能を実現するとともに耐振動性、衝撃性など保存上の安全性も向上いたしました。

富士通アルカリ乾電池は、これまで、よりパワフルであること、より安全に安心してお使いいただけることを目指して進化を続けてまいりました。

そして、今後も半世紀にわたる乾電池製造の技術の蓄積とこれからの新技術開発により、さらに高い性能と長期保存性、安定性を求めるお客様に、技術を持ってお応えいたします。



◎「CEATEC JAPAN 2005」への出展

当社は、10月4日(火)より8日(土)までの5日間、幕張メッセにおいて開催されたアジア最大級の規模を誇る映像・情報・通信の国際展示会「CEATEC JAPAN2005」に出展いたしました。

CEATECの「発展するユビキタス社会。次が見える、明日が変わる。」

というテーマを受けて、本年度は、【ネットワーク】、【フラットパネルディスプレイ】、【モバイル】、【CAR・EMC製品】、【BATTERY】という5つのコンセプトによる、新製品、新機種の展示ゾーンと、FDKの最新技術をご紹介しますゾーンを設置し、数多くのお客様にご来場いただきました。

